

ほんのぼけっと

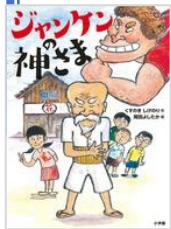
3・4年生に
おすすめする本

市川市立図書館

ジャンケンの神さま

くすのきしげのり／作 おかだ 岡田よしたか／絵
小学館

「まる花」という、駄菓子屋がある。この店のおくにいる小さなおじいさんは、ただものではない『ジャンケンの神さま』とよばれている。ジャンケンでだれも勝てないからだ。ユウイチ、ショウタ、ミツル、アイコもジャンケンで負け、神さまに弟子入りすることになった。そんなとき、全米ジャンケンチャンピオンと神さまが試合をすることになった。しかしその直前、神さまがけがをしてしまい、かわりにアイコが対決することになった。



コクルおばあさんとねこ

フィリパ・ピアス／作
アントニー・メイトランド／絵
前田三恵子／訳 とくましよん 徳間書店

コクルおばあさんは、ロンドンでふうせんを売ってくらしていました。黒ねこのピーターをかっていて、とてもかわいがっています。しかしピーターは、しんせんな魚が食べたくてたまらなくなり家出してしまいました。心配でやせてしまったおばあさんは、ふうせんをもったまま強い風にふかれて空にまいあがります。そして海までとばされ魚釣りボートのあみの上におちました。そのボートにいたのは、なんとピーターでした。



せかいでさいしょの ポテトチップス

アン・ルノー／文 フェリシタ・サラ フェリシタ・サラ／絵
千葉茂樹／訳 BL出版 BL出版

ジョージ・クラムさんは、料理がすすすぎて「クラムのレストラン」をはじめた。だれもがクラムさんの料理はナンバーワンとおもった。ところがある日、こだわりやのフィルバートがポテトをちゅうもんするが、「ぶあつすぎる」とお皿をつきかえした。その後3回もつきかえされたので、とうとうクラムさんは、むこうがすけてみえそうなくらいすーくスライスしたポテトをカリカリになるまであげて、塩をこれでもかとおびせて、フィルバートに出した。



だいこん 大根はエライ

くすまさゆき／文・絵 ふくいんかんしよん 福音館書店

だいこん 大根はエライといふとなんで？と聞かれる。一年じゅう売っているし大きいし重い。どこを切っても真っ白。でもこの大根くんは大活躍。そのまますれば大根おろし。漬ものにも変身しちゃう。いっしょに煮ると自分にしみこませておいしくなるよ。まるで脇役の役者さんみたい。人気、実力ナンバーワンなのだから、もっと主張すればいいのに。でも「いや、ボクはいいよ」って小さな声で言いそうなのが、大根くんのいいところさ。





はつめいか
ぼくは発明家

アレクサンダー・グラハム・ベル

メアリー・アン・フレイザー／作 おびかゆうこ／訳
廣済堂あかつき

でんわ はつめい かぞく
電話を発明したベルは家族からアレックとよばれてました。どんな音も聞かずにはおれず、どうして音が聞こえるのかふしぎでならない子どもでした。そしてあまり耳が聞こえないお母さんに、音がもっと大きくはっきりとどくようにとつよくながっていたのです。あるときお父さんが「音は、振動なのだよ」と教えてくれました。その後、アレックは音の実験などを



して、さまざまな発明をしていきます。アレックが活やくやくひやくななじゅうねんまえ じだい
した約百七十年前の時代の
しゃしん
写真や電話ものっています。

まほうがっこう
魔法学校へようこそ

さとうまきこ／作 高橋由為子／絵 借成社

四年生の圭太が学校に向かっていて、とつぜん道路にかかれた矢印がうごきだした。追いかけていくと、古ぼけた赤いレンガの家に着いた。そこは魔法学校で、圭太は同じようにここに来たクラスメイトのリッチと紅子と一緒に魔法を学ぶことに。しかし、魔法使いのおばあさんが教えてくれるのは、「九秒間、時を止める魔法」「物体を九センチ、持ちあげる魔法」など何の役に立つのかわからない魔法ばかりだった。



パイパーさんのバス



エリナー・クライマー／作 クルト・ヴィーゼ／絵
こみやゆう たくましよてん
小宮由／訳 徳間書店

ハイラム・パイパーさんはバスの運転手です。町の人たちとおはなしするのがだいすきで、このしごとにも気に入っています。でもアパートにかえ帰るとひとりぼっちで、さびしい毎日でした。そんなある日、子犬が一匹きうちまでついてきてしまいました。さらにねこや、ひよこもやってきてにぎやかになりましたが、大家のおかみさんに出ていくように言われてしまいます。さあ、動物たちをもらってくれる人をさがしにパイパーさんのバスは出発進行！



むし たんていだん
虫のしわざ探偵団

しんかいたかし しょうねんしゃしんしんぶんしゃ
新開孝／写真・文 少年写真新聞社

アサガオの葉っぱに、穴ぼこだらけのしわざあり。ササの葉っぱに並んだ穴の、しわざあり！いろいろな場所にどろ団子のしわざあり。林や草原の中で見かけるちょっとおかしくヘンなもの。その多くは虫の「しわざ」です。虫たちが葉っぱを食べたあとや、フンや巣などです。さあ虫のしわざ探偵団になって、「しわざ」とそのヌシを探し、なぞをといてみましょう。



ここで紹介している本は市川市の図書館でかりることができます。



中央図書館 平田図書室 自動車図書館 行徳図書館 信篤図書館 南行徳図書館 市川駅南口図書館